

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 国際計測器株式会社

コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本 繁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松本 博司

TEL 042-371-4211

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,982	18.2	452	△16.1	408	21.6	197	△8.9
23年3月期第3四半期	5,909	73.6	539	—	335	—	217	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 45百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	14.12	—
23年3月期第3四半期	15.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,454	5,761	46.0
23年3月期	13,556	6,343	46.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,731百万円 23年3月期 6,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.2	2,000	8.5	1,950	20.6	1,170	15.5	83.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	14,200,000 株	23年3月期	14,200,000 株
24年3月期3Q	184,539 株	23年3月期	184,500 株
24年3月期3Q	14,015,471 株	23年3月期3Q	14,015,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジアの自動車及びタイヤメーカーを中心とした設備投資が、前連結会計年度に引き続き高い水準で推移しております。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、燃料電池や電気自動車等の環境に配慮した研究開発分野への集中が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、製造ライン用の試験装置であるバランシングマシン及びシャフト歪自動矯正機と共に、研究開発用の試験装置である各種の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの製造ライン向けタイヤ関連試験機を中心に87億4千0百万円（前年同四半期比14.0%減）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、69億8千2百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は4億5千2百万円（前年同四半期比16.1%減）、経常利益は4億8百万円（前年同四半期比21.6%増）、四半期純利益は1億9千7百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

売上高につきましては、タイヤ関連試験機を中心にバランシングマシンの出荷が増加したことによるものであります。

利益面につきましては、外貨建の売上高の割合が高いことから、円高ドル安等により売上総利益率が低下したものの、前年同四半期並みの利益を確保いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカーからのバランシングマシンを中心に高い水準で受注高は推移しました。電気サーボモータ式振動試験機の本格的な事業展開を推進しておりますが、海外での主要決済通貨である米ドルの為替相場が円高に推移したことなどにより原価率が上昇し、売上高は50億6千6百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益（経常利益）は1億2千7百万円（前年同四半期比65.2%減）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

材料試験機の受注高が堅調に推移したことや中国向けの大型案件が検収されたことから、売上高は7億7百万円（前年同四半期比68.3%増）、セグメント利益（経常利益）は8千7百万円（前年同四半期比1,504.9%増）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからのバランシングマシンの受注高が堅調に推移したことや前連結会計年度から繰り越したバランシングマシンが予定通りに検収されたことから、売上高は5億8千3百万円（前年同四半期比110.0%増）、セグメント利益（経常利益）は1億2千8百万円（前年同四半期は3千1百万円の損失）となりました。

〔韓国〕

前連結会計年度に引き続き自動車及びタイヤ関連メーカーからのバランシングマシンやシャフト歪自動矯正機の受注高が堅調に推移したことから、売上高は10億7百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益（経常利益）は2億6千3百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

〔中国〕

家電及び自動車関連メーカーからバランシングマシンを中心に受注しておりますが、一部の納品検収が第4四半期以降にずれこんだことや棚卸資産に対する評価減を行ったことなどから、売上高は3億4千4百万円（前年同四半期比27.4%減）、セグメント損失（経常損失）は4千5百万円（前年同四半期は6千6百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、81億6千0百万円（前連結会計年度末比11億2千8百万円減）となりました。これは、受注残高の増加に伴い仕掛品が増加（前連結会計年度末比8億4千5百万円増）したものの、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比19億1千8百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、42億9千3百万円（前連結会計年度末比2千5百万円増）となりました。これは、のれんが償却により減少（前連結会計年度末比5千2百万円減）したものの、役員及び従業員を対象とした保険積立金が増加（前連結会計年度末比1億2千9百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、48億6千3百万円（前連結会計年度末比2億8千7百万円減）となりました。これは、運転資金を調達したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比5億円増）したものの、法人税等を納付したことにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比7億3千2百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、18億2千8百万円（前連結会計年度末比2億3千2百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金へ振替えたことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比2億5千8百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、57億6千1百万円（前連結会計年度末比5億8千2百万円減）となりました。これは、期末及び中間配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比4億3千2百万円減）したことや円高ウォン安等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比1億6千9百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

例年、第2四半期及び第4四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、平成23年5月13日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,539,388	2,657,170
受取手形及び売掛金	4,038,305	2,119,824
商品及び製品	264,982	178,877
仕掛品	1,405,028	2,250,211
原材料及び貯蔵品	578,073	511,677
繰延税金資産	274,869	226,753
その他	195,668	221,706
貸倒引当金	△7,667	△5,778
流動資産合計	9,288,648	8,160,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,579,212	1,564,488
機械装置及び運搬具	172,880	179,436
土地	1,671,246	1,667,869
その他	167,378	149,344
減価償却累計額	△1,068,879	△1,084,133
有形固定資産合計	2,521,838	2,477,004
無形固定資産		
のれん	105,844	52,922
その他	57,083	57,145
無形固定資産合計	162,927	110,067
投資その他の資産		
投資有価証券	153,454	177,470
長期貸付金	37,379	35,213
繰延税金資産	121	110
保険積立金	1,334,978	1,464,751
その他	75,895	55,431
貸倒引当金	△18,800	△26,276
投資その他の資産合計	1,583,027	1,706,700
固定資産合計	4,267,792	4,293,773
資産合計	13,556,440	12,454,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,217,836	2,242,876
短期借入金	250,000	750,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	630,906	672,008
未払法人税等	776,898	44,674
賞与引当金	128,297	61,610
製品保証引当金	231,804	240,628
前受金	616,486	577,417
その他	198,684	274,607
流動負債合計	5,150,914	4,863,824
固定負債		
長期借入金	1,616,864	1,358,842
繰延税金負債	135,703	133,009
退職給付引当金	180,900	201,864
役員退職慰労引当金	123,956	131,023
資産除去債務	4,151	4,219
固定負債合計	2,061,575	1,828,959
負債合計	7,212,490	6,692,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,143,788	4,711,013
自己株式	△150,917	△150,946
株主資本合計	6,952,370	6,519,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,634	68,480
為替換算調整勘定	△687,196	△856,496
その他の包括利益累計額合計	△638,561	△788,016
少数株主持分	30,140	29,882
純資産合計	6,343,950	5,761,433
負債純資産合計	13,556,440	12,454,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	5,909,374	6,982,080
売上原価	3,631,443	4,671,248
売上総利益	2,277,931	2,310,831
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	151,231	144,861
貸倒引当金繰入額	—	3,266
役員報酬	66,590	126,150
給料手当及び賞与	409,354	444,865
賞与引当金繰入額	21,533	23,227
退職給付費用	18,883	20,208
役員退職慰労引当金繰入額	6,600	7,067
運賃	186,280	198,572
減価償却費	18,563	16,891
研究開発費	29,512	26,510
その他	829,437	846,251
販売費及び一般管理費合計	1,737,986	1,857,872
営業利益	539,944	452,959
営業外収益		
受取利息及び配当金	29,148	37,120
その他	15,652	29,560
営業外収益合計	44,800	66,681
営業外費用		
支払利息	22,518	21,430
持分法による投資損失	2,407	75
売上債権売却損	4,575	6,349
支払手数料	3,937	21,105
為替差損	209,527	50,281
保険解約損	2,608	665
その他	3,458	11,494
営業外費用合計	249,033	111,403
経常利益	335,710	408,237
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,738	—
特別利益合計	2,738	—
特別損失		
固定資産除却損	677	1,917
固定資産売却損	14	261
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,848	—
特別損失合計	2,541	2,179
税金等調整前四半期純利益	335,907	406,058
法人税、住民税及び事業税	192,726	168,500
法人税等調整額	△78,980	39,760
法人税等合計	113,746	208,260
少数株主損益調整前四半期純利益	222,161	197,797
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,994	△124
四半期純利益	217,166	197,922

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,161	197,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,374	19,845
為替換算調整勘定	△240,997	△172,006
持分法適用会社に対する持分相当額	△966	△279
その他の包括利益合計	△219,589	△152,439
四半期包括利益	2,572	45,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,328	48,467
少数株主に係る四半期包括利益	4,900	△3,108

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	4,512,257	420,589	242,593	467,761	258,964	5,902,166	7,207	5,909,374
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	363,391	—	35,414	471,631	215,661	1,086,098	49,140	1,135,238
計	4,875,649	420,589	278,007	939,392	474,626	6,988,265	56,348	7,044,613
セグメント利益 又は損失 (△)	367,925	5,459	△31,221	229,870	66,646	638,680	20,570	659,250

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	638,680
「その他」の区分の利益	20,570
セグメント間取引消去等	△323,539
四半期連結損益計算書の経常利益	335,710

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	4,796,999	707,882	583,408	653,401	225,515	6,967,208	14,871	6,982,080
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	269,905	—	455	353,689	118,931	742,981	56,353	799,334
計	5,066,904	707,882	583,864	1,007,091	344,446	7,710,189	71,225	7,781,415
セグメント利益 又は損失 (△)	127,926	87,614	128,702	263,022	△45,864	561,402	14,964	576,366

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	561,402
「その他」の区分の利益	14,964
セグメント間取引消去等	△168,128
四半期連結損益計算書の経常利益	408,237

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,758,480	+10.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	468,957	+17.4	日本(国際)
材料試験機	707,882	+68.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	540,825	+52.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	505,896	+15.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,982,040	+17.9	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,633,835	△11.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	981,959	+13.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	954,161	+4.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	694,641	+24.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	475,713	△67.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,740,311	△14.0	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第3四半期連結累計期間末（平成23年12月31日）

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,515,831	△3.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,240,952	+4.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	443,759	△21.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	677,131	+39.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	70,908	△93.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,948,584	△12.9	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,758,108	+10.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	468,159	+17.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	707,882	+68.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	540,831	+51.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	507,099	+20.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,982,080	+18.2	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。